

実施日：11月1日（5校時）	
教科等：特別な教科 道徳	
取組名：仲良くなるために大切なことを考えよう	
対 象：6年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <p>外国にルーツをもつ人との出会いと交流を通して、自他の違いを認め合う態度や豊かな人間関係を築くための態度、技能を身に付ける。</p>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 [別紙①]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵、掲示物を示しながら、物語全体の内容を押さえる。 ・ 主人公の先入観をとらえさせ、相手を理解しようとする気持ちが芽生えたことに気付かせる。 ・ 補助発問を準備し、児童の発言からねらいに迫る発言には問い返しをする。 ・ 児童の発言をもとに、仲良くなるために大切なことは何かを自分事として考えさせる。 	
ウ 連携先：家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他者理解につながる「話の聞き方」を校内研修の重点目標に位置付ける。 ・ 学校だより、学級通信等で子どもたちの様子を伝える。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師自身が子どもの話を受容的に聞く姿勢を大切にし、受容的に聞き合えるクラス作りに励む。 ・ 他者理解につながる「話の聞き方」に関する児童を対象としたアンケートを実施し、指導に生かしていく。 	
<p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート</p>	
<p>キ 成果</p> <p>学校生活の中で、相手がうれしく感じる声かけや、譲り合う行動が見られるようになってきた。</p>	
<p>ク 課題</p> <p>自他の違いを知ることができてでも自他の違いを認め合うことがしづらい児童も見られるため、今後も引き続き、自己の違いを認め合える集団作りに取り組んでいきたい。</p>	